

## 西根病院から市立病院 に名称変更などを可決

今回は  
市長提出議案 33件  
議員提出議案 2件  
請願 2件  
報告 1件



移転により、市立病院に名称変更する西根病院

**Q** 事業管理者が、他の地方公務員の職を兼ねる可能性があり得るのか。  
**A** 想定する事業管理者の医師に限り、兼職の可能性は極めて少ない。  
**Q** 事業管理者は、どういう専門の医師なのか。  
**A** 県立中央病院などを通じ、事業管理者になる医師の人数をお願している段階であり、専門についてはまだ不明である。

### 病院事業管理者の 給与などを定める

移転後に、名称を西根病院から市立病院に変更することや、病院事業の地方公営企業法全部適用にあたり、病院事業管理者の給与および旅費に必要事項を定めようとするものです。

【議案第2号】 八幡平市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例  
【議案第4号】 八幡平市病院事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例

### 農業委員の選出方 法を変更する条例

国の法律改正に伴い、農業委員会が、その主たる使命である農地利用の最適化を、よりよく果たせるようにするものです。

【議案第3号】 八幡平市農業委員会委員等定数条例

【主な内容】  
▼農業委員会の業務の重点は、農地利用の最適化の推進であることを明確にする。  
▼地域の農業をリードする担い手が、透明なプロセスを経て確実に就任するようにするため、市議会との同意を要件とする市長の任命制に変更する。  
▼農業委員とは別に、各地域において農地利用の最適化を推進する農地利用最適化推進委員を新設する。

### 2 班

● 11月11日 ●

松尾コミュニティセンター

参加者 14人

▼英会話を普及させるために、補助金支給や英会話教室が必要であり、それが観光につながる。  
▼国道282号北森駅付近に、駅を利用する人のために横断歩道の設置は可能か。また、バス停も駅前設置してほしい。  
▼空き家が放置されている。撤去費用を国から補助してほしい。  
▼また、空き家を活用するのはどうか。  
▼道案内の標識が足りない。  
▼街灯の老朽化が目立つ。調査後の対応がない。その後、どう対応していくのが見えない。  
▼スポーツ合宿誘致は、宿泊費免除や助成金支給だけでなく、病院と連携できる体制など、恒久的な環境づくりが必要である。  
▼100歳まで長生きさせるための、現場を回るスタッフや相談員を増やせないか。

### 3 班

● 11月11日 ●

寺田コミュニティセンター

参加者 12人



寺田コミュニティセンター (11月11日)

▼若谷地で大雨が降ると、道路が川のようになり、床下浸水する箇所がある。排水について、どのように計画しているのか。  
▼地元で就職する子どもたちが少なければ、この先、市の将来が不安である。その対策を行っていないように感じる。  
▼平館高校に、一丁企業へ就職できる学科の新設が必要ではないのか。  
▼地権者の分からない土地の面積は、どのくらいあるのか。

### 2 班

● 11月12日 ●

大更コミュニティセンター

参加者 14人



大更コミュニティセンター (11月12日)

▼一級河川の現状復旧において、工事前より1メートル低い。市から県に連絡しているのか。  
▼田頭中村から市役所までの道路整備は、計画的に進めてほしい。  
▼コミュニティバスの乗客が少なく、大型バスは無駄である。  
▼平笠小学校と田頭小学校の学校統合は、生徒数の減少を考えると早くした方がよい。  
▼市道などの軽舗装の優先順位の基準があるのか。生活道路は、早くやってほしい。

### 3 班

● 11月12日 ●

田山コミュニティセンター

参加者 14人



田山コミュニティセンター (11月12日)

▼原案同意、原案可決、原案承認の意味を教えてください。  
▼コミュニティバスの運行について、利用者に運行内容などの周知が必要ではないか。  
▼雇用促進住宅は、今後どうなるのか。  
▼除雪について、朝早くうるさいと苦情があるが、通学、通勤に間に合うように除雪してほしい。  
▼なぜ、女性議員がないのか。  
▼スポーツ交流館までの道路を拡幅してほしい。



【議案第17号】 平成29年度八幡平市一般会計補正予算(第8号)

## 8700万円を 西根病院会計へ

歳入、歳出それぞれ1億3648万1千円を増額し、総額205億9364万7千円にするもので、主な歳出は次のとおりです。

- ▼コミュニティバス運行事業 179万円
- ▼ふるさと応援寄附金(ふるさと納税)推進事業 5054万円
- ▼保育等実施事業 4801万円
- ▼西根病院事業会計負担金 8700万円
- ▼観光客誘致対策事業委託料 777万円
- ▼除雪業務委託料 5069万円

**Q** 西根病院会計負担金8700万円は、内部留保資金約12億円ある中で、一般会計から負担する理由を伺う。

**A** 不採算地区病院の運営に関する経費の不足分は、一般会計から負担することになっている。

【議案第26号】 八幡平市清掃センターごみ焼却施設基幹的設備改良工事の請負契約の締結に関する議決を求めることについて

## ごみ焼却施設改良 工事は随意契約

八幡平市清掃センターごみ焼却施設基幹的設備改良工事を随意契約の11億5776万円で、株式会社エフシオと契約締結しようとするものです。

**Q** 旧沢川小学校校庭木剪定業務委託料52万9千円の内容を伺う。

**A** 校庭の桜木の道路支障部分伐採と、芯止め作業を高所作業車で行うものである。

**Q** 西根病院の内部留保資金の活用策を伺う。

**A** 新病院建設計画で、約12億円のうち5億円を建設費に充て、他はその年度に必要な資金運用するものである。



ふるさと納税の返礼品梱包作業

【議案第26号】 八幡平市清掃センターごみ焼却施設基幹的設備改良工事の請負契約の締結に関する議決を求めることについて

**Q** 入札辞退届を提出した業者名を公表してほしい。

**A** 日立造船株式会社、JFEエンジニアリング株式会社、三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社、クボタ環境サービス株式会社である。

**Q** 4社が、入札辞退した理由を伺う。

**A** 東京、関東の業者なので、地理的な条件で辞退したと理解している。

**Q** 再入札という方向、手だては不可能だったのか。

**A** 他に業者がいないので、再入札は不可能である。

## 請願

▼日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願

◆委員会の意見  
世界唯一の被爆国として、核兵器のない世界の実現を目指すべきと考える。

※上記請願は採択され、関係機関(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣)に、意見書を提出しました

▼岩手県立平館高等学校の充実強化に関する請願

◆委員会の意見  
市内唯一の高等教育機関である平館高等学校の存続発展を期するため、官、学、民一体となり、魅力化に取り組み必要があると考える。

※上記請願は採択されました

# 一般質問

## 10人が市政を問う

- 小野寺昭一 議員 (八起会) ……07**
- ・障がい児支援学校への送迎について
  - ・収納代理金融機関ゆうちょ銀行について
  - ・動画配信事業について
- 井上 辰男 議員 (八起会) ……08**
- ・市長4期目の市政運営について
  - ・防災行政無線の運用について
  - ・出会い支援事業について
- 山本 榮 議員 (日本共産党) ……08**
- ・安代地区の振興について
- 立花 安文 議員 (八起会) ……09**
- ・田山地区のコミュニティバスについて
  - ・移動式期日前投票所(移動投票所)について
  - ・地域おこし協力隊員について
- 畠山 康 議員 (八起会) ……10**
- ・市営住宅について
  - ・老人クラブについて
  - ・中学生の部活動について
- 渡辺 義光 議員 (市民クラブ) ……10**
- ・議会答弁の調査、検討事項の具現化について
  - ・多目的文化交流施設計画などの追跡質問について
  - ・子育て世代包括支援センターの設置について
- 高橋 悦郎 議員 (日本共産党) ……11**
- ・人口減少問題について
  - ・寺田若谷地地区の雨水排水路の整備について
- 米田 定男 議員 (日本共産党) ……12**
- ・学校給食について
  - ・住民要望への対応のあり方について
- 北口 和男 議員 (無会派) ……12**
- ・文化財の保存と活用について
  - ・自動車道の縄文・遺跡調査について
- 工藤 剛 議員 (市民クラブ) ……13**
- ・災害に強いまちづくりについて
  - ・地域の「縮充」という考え方について



おの であらしょういち  
小野寺昭一 議員  
(八起会)

**問** 平成28年4月に八幡平市内に開所した放課後等デイサービス施設きらきら星は、毎日、岩手県立盛岡みたく支援学校と盛岡となん支援学校に無償で送迎を行っているが、福祉有償連送事業などで支援すべきと思うが、考えを伺う。

**市長** きらきら星は、障がい児通所支援の一つである放課後等デイサービスとして、平成28年4月に松川地区に開所しており、放課後等デイサービスは、学校に就学している障がいのある児童などを対象とし、放課後や夏休み、冬休みの長期

## 障がい児通学支援

## 公平性確保など含め検討

休暇中に対象児童の発達支援など、専門的な支援を行うものである。きらきら星では、保護者の負担をできるだけ軽減するために事業所から学校までの送迎を無償で実施し、事業所には、相当な負担となっていることは承知している。当市に

おいては、障がい児通学支援手当支給事業実施要綱を定め、子どもを特別支援学校に送迎している保護者の負担を軽減するため、平成20年度から通学支援手当を支給している。送迎をすべて保護者自身が行っている場合に月額5千円を支給し



放課後等デイサービスきらきら星

ており、現在、手当の対象となっている方々との公平性の確保の観点なども含めて、検討していく考えである。





井上辰男 議員 (八起会)

問 常に、将来を見据えた責任ある行政の、具体的な内容とは。  
市長 合併の基本である建設計画の着実な実行を図りながら、財政の健全化を維持していく。

問 元気で長生きできる高齢化社会と、若い世代が将来に希望が持てるまちづくりの実現に、どう取り組むのか。  
市長 八幡平市は、豊かな農地、多くの観光資源などを有し、働く意思があればそれぞれの知識・能力を生かし、生きがいと健康を与える働きやすい環境づくり

と、若い世代が八幡平市で働き、子どもを育てていくだけの所得が得られる環境づくりが大事と考える。  
問 長期にわたってトップとなるが、これからのまちづくりを進めるに当たっての大事なことは何か。  
市長 議会、市民の理解、

協力、市役所の組織の力なくしてできない。より一層、市民との対話や議員との意思疎通を図っていきたい。  
防災行政無線の運用について  
問 近年、地震や局地的な大雨など自然災害だけでなく、人為的な災害も想定される。平成29年9月15日、北朝鮮がミサイル発射した際、作動しなかった地区は。市長 矢神岳中継局の工事が終了し、翌日から各拡声子局と調整を行う予定だったが、安代地区の一部で放送されない事態となった。



希望と夢のあるまちづくり

## 将来を見据えた行政 財政の健全化を維持する



山本 栄 議員 (日本共産党)

問 安代総合支所の全ての課を廃止し、職員を10数名にした役場の機能縮小が、安代の人口減少、地域の衰退に拍車をかけている。安代総合支所に、土木林業課の復活、一定の予算と権限を与えること、職員体制の充実を図ることを求める。

また、リンドウでの生産拡大、雇用拡大を指導推進する担当係の配置を求める。  
市長 市全体の林業事務などは、平成28年度から農林課に移行し、効率的で効果的な行政運営を目指している。安代総合支所に土木林業係を置くことで、迅速な

対応が可能となっている。  
農林課長 リンドウの新規就農者として、地域おこし協力隊の就農を進めていく。  
田山中学校跡地に子育て支援住宅を  
問 子育て支援定住促進住宅建設について伺う。

市長 田山中跡地一帯の更地化後に活用を検討したい。  
田山スキー場整備早期実施を  
問 スキー場整備の完了時期と経済効果を伺う。  
市長 完了時期は、詳細な検討が必要であり、経済効

果への波及を図りたい。  
田山にパークゴルフ場整備を  
問 議会の意見は地域活性化のため、田山地区に整備することが望ましいとしているが、整備の計画を伺う。  
市長 現時点では、難しい。



安代総合支所窓口

## 土木林業課の復活 土木林業係を置き対応



立花安文 議員 (八起会)

問 投票所の統廃合によって新投票所までの距離が長くなり、交通手段の確保が難しい有権者の投票機会の確保を図る観点から、設置を検討してはどうか。  
市長 市議会議員選挙後に選挙バス、人員体制、経費などについて総括を進めて

いきたい。  
問 高齢者が増え、過疎化が進む地域に、移動投票所を設置することは、福祉施策の一つと考える。総務課長 4月の市議会議員選挙に間に合わせるには準備期間が足りない。

1月から運行のデマンドバス  
問 1月から、午前は定時運行、午後はデマンド運行に切り替わるが、デマンドバスの定員に余裕がある場合、予約しない方も乗車できないか。

地域振興課長 予約しない方でも、予約した方と同じ方向であれば、乗れるように対応したい。  
地域おこし協力隊員の定住者数  
問 これまでの定住者数は。市長 任用期間終了後4人

が定住し、2人が転出した。  
問 定住率の高い自治体はコーディネーターを置いていますが、検討してはどうか。  
市長 検討したい。  
問 女性隊員の出産、子育てなどの規定は整備されているのか。  
市長 未整備である。



動く投票所 (島根県浜田市)

## 移動式期日前投票所 市議会議員選挙後に総括





はたけやま やすし 山 康 議員 (八起会)

## 柏台第一住宅の空室対策

### 単身者入居も検討

問 柏台第一住宅は2LDKで約60㎡と民間アパートに比べ広く、地理的条件を除けば恵まれたつくりとなっている。現在、78戸中27戸が空室となっており、募集方法、入居条件などの緩和が必要ではないか。また、お試し移住、子育て支援住宅として利用方法の拡大を検討すべきではないか。

答 全国の老人クラブ会員数がピーク時の3分の2に減少している。自主的組織とはいえ、活動を通じての効果は多大であり、今後どのように支援していくのか。

市長 元気な高齢者の社会参加活動を積極的にPRするため、広報などで紹介していく。活動に要する経費補助を継続し、魅力あるクラブの育成を支援していく。

### 中学校部活動の今後の展望

問 生徒数が減少する中、レベルの高いクラブもあり、部活動を維持していく上で、今後の展望を伺う。



空室のある柏台第一住宅

答 部活動種目の限定、減少など、多くの課題の中で、合同チームによる大会参加、あるいは特設部を設置してきた。生徒が自主的に充実感、達成感を持って取り組めるよう、活動の機会を継続していく。



わたなべ よしみつ 渡辺義光 議員 (市民クラブ)

## 多目的文化交流施設設置

### 西根体育館を視野に構想

問 合併時からの懸案事項である文化、芸術の拠点施設設置については、市芸術文化団体や市婦人団体から提出の請願が採択になっている。市長は、「公共施設総合計画等」で検討すると答弁しているが、実現化と取り組みの現況はどうか。

市長 文化施設建設は、合併時に市民との約束事でもあるが、新築には20億円以上の資金が必要である。今後、西根体育館の大規模改修が予測されるので、文化施設としての併用を視野に入れて構想し、議会や市民の意見を伺いたい。

市長 議員からの質問や提言については完結したもの、諸事情で実施できないものもある。議員の質問は常に真摯に受け止め、具現化に向け、誠心誠意努めている。

問 妊娠から子育て期まで、安心して子どもを産み育てられる包括的な環境整備と日本版ネウボラの早期導入について市長の考えは。



市民センターでの老人芸能発表会

### 議会答弁のゆくえ

※ネウボラ=フィンランドにおいて、妊娠期から出産、子どもの就学前までの間、母子とその家族を支援する目的で、地方自治体が設置、運営する拠点。また、出産・子育て支援制度のことという。



たかはし えつろう 高橋悦郎 議員 (日本共産党)

## きつねづか 狐塚に若者への宅地造成

### 住宅地として開発を検討

問 市の人口ビジョン計画では、25年後の平成52年の人口を1万8800人に目標値を定め、そのための総合戦略計画も作った。この目標値達成には、年間の人口減少を329人以下に抑えないと実現しない。しかし、平成27年は512人、

28年は540人、29年は450人と目標値を大きく上回る人口減少になっているがどうか。

市長 定住化が進まないのは、優良な安い宅地供給ができていないためと認識している。課題はあるが、安価な宅地供給を定住促進の一つの目玉にして取り組んでいきたい。

年	八幡平市の人口	人口減少数
平成24年10月1日	27,774	
平成25年10月1日	27,323	▲ 451
平成26年10月1日	26,913	▲ 410
平成27年10月1日	26,401	▲ 512
平成28年10月1日	25,861	▲ 540
平成29年10月1日	25,411	▲ 450

(国勢調査毎月人口推計の概数より)

八幡平市の人口推移

問 市有地である大更狐塚地区を定住化のために宅地造成を行い、市内外の若者に安価で提供すべきであり、このことを総合戦略の柱に据えるべきでないか。

市長 狐塚は優良な住宅地になることは認識している。まず、雨水の排水対策が必要である。その上で、住宅地として開発を検討したい。





米田定男 議員 (日本共産党)

### 完全給食実施は緊急課題

### 実施の方向は考えている

問 学校給食費の無料化が、全国に急速に広がっている。この学校給食費無料化の政治的意義についての見解は。

教育長 本来は、国が掲げる教育無償化政策の一環として、国主導による学校給食費の一律無償化が望ましい。

答 家は計の負担軽減による子育て支援、子育て世代の移住定住につながる効果、給食費徴収業務の負担減の効果を想定する。

問 全国の小学校の完全給食実施率は、98・6%である。この事実から見ても、負担増なしでの完全給食実



西根地区学校給食センター

施は緊急の課題である。教育長 給食センター施設改修時点で保護者の意向を把握し、米飯提供の実施、負担の在り方などについて検討する必要がある。

問 米飯給食を提供する上でさまざまな条件は別にして、完全給食を実施すべ

きであるという基本的な立場はあるのか。この課題は、これまでの議会でも何度か取り上げられたものである。実行するという決断さえあれば、さまざまな課題を解決し、これが今の段階で最善の形だとして進めることができるはずである。

教育総務課長 保護者の炊飯の負担をなくしていくために、何とか完全給食の方向にもっていきたいと考えている。なお、費用負担の問題については検討が必要である。



北口和男 議員 (無党派)

### 県内唯一の塗室の保存

### 歴史や文化を後世に残す



早期保存と活用を待つ岩屋塗室

問 岩手県内で唯一残っている八幡平市岩屋の小山田家の塗室と道具などが、漆器生産の歴史、安比川流域の文化として、学者、市民から保存すべきと提言されている。県と連携し、早々に保存し、生かすべきと思うがどうか。

教育長 地域の大切な歴史文化を後世に残していくことが私たちの使命であり、学術的には建物をそのまま保存できることが望ましい。観光施設に活用することも視野に入れ、所有者、研究者、地区民の意見を伺い、多角的に検討していきたい。

漆原木植林の今後の計画は 文化庁は、国宝や重要文化財の建造物の修復に国産漆を使用するよう全国の教育委員会に通知している。昨年、市が鞍掛牧野に漆生産原木を植林したとのこと

だが、その経緯と植林内容、また、今後の計画を伺う。市長 八幡平市から日本文化財漆協会に、鞍掛牧野約9畝を漆生産原木植林地としての可能性について申し入れ、現地調査を経て、平成28年3月に国産漆植栽実施協定を締結し、同年5月、



工藤 剛 議員 (市民クラブ)

### 河川災害の復旧の在り方

### 改良復旧を県に要望

問 河川災害で、現状復旧では毎回同じ箇所が被災している。効率の良い復旧方法は無いのか。

市長 国でも、原形復旧にこだわらない施策も取られていることから、今後、県とも協議していきたい。問 市の予算で、かさ上げ

市長 防災マップを作成し、全戸へ配布している。避難行動要支援者については、名簿の作成のみで、支援方法や避難経路などの、個別計画は未策定である。

問 地域で要支援者の方の避難を手助けしようと思うても、名簿の開示がされないのか。

市長 地域や集落ごとに避難計画づくりをしてもらうなど、協力してもらいたい。

問 災害時のペットの救済支援はどうなっているのか。市長 飼い主と共にペットも避難すると想定されることから、避難所の屋外にペットの共有スペースを設けることも必要だと考える。



復旧しても被災した松川河岸